

2020年(令和2年)9月24日(木曜日)

オゾン水 低濃度でも効果

感染力を弱める

藤田医科大学確認

藤田医科大学(愛知県豊明市)は二十三日、気体のオゾン水を溶かした水(オゾン水)に、新型コロナウイルスの感染力を弱める効果が

あることを確認したと発表した。これまで確認されているよりも低い濃度で効果が出るのが、新たに裏付けられた。

同大の村田貞之教授(ウイルス学)は新型コロナウイルスとオゾン水を混ぜ合

わせ、十秒後にウイルスの感染力を測定した。その結果、水一リ当たり一リ分のオゾンを含む場合、感染力のあるウイルス量は0・7%にまで減少。濃度が同一割合の場合、0・1%未満にまで減った。

オゾン水は手指の消毒や食品の洗浄などに使われている。別の研究機関が八

月、同十割の濃度で効果が生じることを発表していた。オゾン水の濃度が高い場合、肌が荒れることがあり、低濃度の方が安全に結ぶるといふ。

村田教授は既に、気体のオゾンガスにもウイルスの感染力を弱める効果があることを発表している。

(白名正和)